

平成27年度予算

地方創生に総合戦略を策定



子育て支援で子どもにやさしいまちづくり

歳出

歳出は、社会保障関係などの義務的経費が6.5%増の約25億7千万円となったが、サンスターホール、保育所改修工事など大型事業の終了により、投資的経費が前年比23.4%減の約7億7千万円となった。

特別会計では、国民健康保険事業、下水道事業、介護保険事業、後期高齢者医療の4特別会計の総額約39億2千万円を可決した。

3月定例会

社会資本道路整備の充実 子育て支援も

歳入

今年度予算は、大型事業が完了したので、前年度比約1億5千万円(2.7%)減の約53億6千万円となった。
しかし、自主財源である町税は前年度比5.2%増の約23億6千万円、昨年4月から8%に引き上げられた地方消費税交付金は45.5%増の約2億4千万円、地方交付税は0.3%増の約7億6千万円となった。

平成27年3月定例会を3月5日から8日間の会期で開催した。
平成26年度一般会計他、各特別会計補正予算5件、条例の制定2件、改正14件、廃止2件、その他議案2件、教育委員会委員の任命同意1件を慎重審議し、いずれも原案とおり可決した。
予算審査特別委員会で、3日間の集中審査を行い、一般会計予算、各特別会計予算4件を原案とおり可決した。
一般質問は8人から9問の町政課題について問いただし、傍聴席では小屋浦小学校6年生を含め、町民約50人が熱心に聴き入った。

